

環境法政策学会 法科大学院修了者向けシンポジウム

「理論と実務の架橋—産廃処理施設の取消訴訟の原告適格」

開催目的: 環境法・環境政策を発展させるという環境法政策学会の使命を果たす一環として、法科大学院修了生及び司法修習予定者等と、学会員が、環境法に関わる問題の実態や重要性をともに認識し、具体的な課題について検討する場を設定することを目的とする。

開催概要: 学問としての理論と法曹の実務との架橋を目指し、法科大学院修了生による報告を最初に設定するとともに、実務家及び研究者にご報告いただき、対談することを予定している。さらにフロアとの質疑応答により、議論が深まることを期待している。

日 時: 2015年11月16日(月) 18:30~21:30

場 所: 公益社団法人商事法務研究会 3階会議室 (東京都中央区日本橋茅場町3-9-10
茅場町ブロードスクエア) <http://www.shojihomu.or.jp/map.pdf>

参加費: 法科大学院修了生・在学生及び環境法政策学会会員は無料。

上記以外の方は、資料代として1,000円(税込)頂戴いたします(当日、会場にて徴収)。

定 員: 80名(定員になり次第締め切らせていただきます)

対象判例: 最判平成26・7・29(民集68巻6号620頁、判タ 1409号114頁、判時 2246号10頁)

◆プログラム◆ (敬称略)

主催者代表挨拶 (18:30~18:35) 高橋 滋 (環境法政策学会理事長/一橋大学教授)

全体司会 大塚 直 (環境法政策学会事務局長/早稲田大学教授)

第1部 報 告 (18:35~19:45)

報告1 - 訴訟に関わった実務家による論点報告 (18:35~19:05) 黒原智宏 (弁護士)

報告2 - 法科大学院生によるミニ報告 (19:05~19:25) 澤田雅之 (一橋大学法科大学院)

報告3 - 研究者からの報告 (19:25~19:45) 横田明美 (千葉大学准教授)

休憩/質問票回収 (19:45~20:00)

第2部 パネルディスカッション・質疑応答 (20:00~21:30)

司会 柳 憲一郎 (明治大学教授)

パネリスト

亘理 格 (中央大学教授) / 黒原智宏 (弁護士) / 横田明美 (千葉大学准教授) /

澤田雅之 (一橋大学法科大学院)

■申込み・問合せ

<申込方法>

11月9日(月)までに、お名前、ご所属、連絡先(メール・電話)、環境法政策学会の会員か非会員かを明記の上、下記事務局までメールにてお申し込みください。受付番号は発行いたしません。環境法政策学会事務局(公益社団法人商事法務研究会内)

TEL: 03-5614-5633 kankyo@shojihomu.or.jp 担当: 杉山